

経済広報センター「2022年度 教員の民間企業研修」受け入れ ～東村山市教育委員会より7名の教員が参加

令和4年8月18日～8月19日の2日間、JISAでは一般財団法人経済広報センターが実施する「2022年度 教員の民間企業研修」の受け入れを行い、東村山市教育委員会より派遣された小中学校の教員7名が参加しました。

経済広報センターは教育界と経済界との対話促進活動の一環として、「教員の民間企業研修」を1983年から実施しています。本研修は、小・中・高等学校などの教員が夏休み期間中に、民間企業で様々な研修を受けるプログラムです。

JISAでは2012年より「教員の民間企業研修」の受け入れを行っています。なお、当業界ではこれまで、株式会社NTTデータ（特例子会社）、TIS株式会社、株式会社野村総合研究所などのJISA会員企業が受け入れを行った実績もあります。

研修プログラムの概要は以下とおりです。

■ 1日目

午前は、社会における情報システムの役割やシステムを構築するプロセスと仕事、ITエンジニアの働き方などの理解を深めていただくため、「暮らしや社会における情報システムの役割」「情報システム構築の仕事とITエンジニアの役割」「IT業界の働き方改革への取り組み」についてJISA事務局より説明を行い、さらに教育現場の働き方に関する意見交換を行いました。

午後は、株式会社IDホールディングスを訪問し、企業の具体的な事業内容や、事業活動を通じたサステナビリティへの取り組みとしてESGやD&Iの推進活動を紹介いただきました。また、従業員のモチベーション向上に向けた取り組みや多様な働き方について、職場見学や意見交換を通じて理解を深めました。



■ 2日目

午前は、日本電子計算株式会社を訪問し、DXの概要や具体的な実践事例として産業・公共向けの多種多様なサービスを紹介いただきました。その後、教育現

場における IT の活用方法に関する意見交換を行い、社会やビジネスの様々な課題に対して IT をどのように活用していくか理解を深めました。

午後は、JISA の事務所に移動し、JISA の「情報化教育に関する取り組み」を事務局より説明を行った後、株式会社 JSOL 及び日鉄ソリューションズ株式会社による子ども向けのプログラミング授業を体験いただきました。また、その体験後には、学校のプログラミング教育について意見交換を行いました。



本研修にご参加いただいた先生方には、社会における情報システムの重要性や IT 社会を創る仕事の大切さ・面白さを子どもたちに伝えていただけたら幸いです。また、先進的な IT サービスや企業の働き方改革などが、教育現場や学校運営の参考に繋がることを期待します。

今回、ご多忙の中研修の受入に多大なご協力をいただきました、株式会社 ID ホールディングス、日本電子計算株式会社、株式会社 JSOL、日鉄ソリューションズ株式会社には、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

(辻村)